

No.144

2018.1.24

(平成30年)



発行：(公社) 神奈川労務安全衛生協会厚木支部
編集：広報部会

あつぎ

支部だより

ダイジェスト版

あいかわ | あつぎ | あやせ | えびな | きよかわ | ざま | やまと

もくじ

- 1～2・・・新年のご挨拶
- 3・・・署からのお知らせ
神奈川大会表彰
- 4・・・逍遥・健康だより
ディスカバリーあつぎ
支部からのお知らせ

E-mail : toi_12@roaneikyo.or.jp
<http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/atsugi/index.html>

〒243-0014 厚木市旭町 2-2-26
TEL(046)228-6660



『新年のご挨拶』

厚木支部長 中山 保

ソニー（株）厚木テクノロジーセンター

神奈川労務安全衛生協会厚木支部の皆様『あけまして、おめでとうございます』皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

厚木支部長の、ソニー（株）厚木テクノロジーセンターの中山です。日頃から労務安全衛生活動にご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年来の我々の課題といえば、やはり『働き方改革』長時間労働の撲滅です。平成26年に「過労死等防止対策推進法」が施行され、11月は「過労死撲滅啓発月間」となっております。昨年も過労死の一つの要因となる長時間労働の削減など過重労働に向けた「過重労働解消キャンペーン」が行われましたが、皆様の事業所でも、様々な活動が展開されていると思います。従来の残業規制日はもとより、NO会議Dayを金曜日に設定して、土日と合わせて三連休を取りやすくする、ロボティクスによるルーティンワークの効率化、休日メール禁止など新しい取り組みが行われていることを耳にします。

一方で、過重労働の現状は、まだ改善された状況には程遠い状況です。心と体のバランスを崩して長期間の休暇を取られているかたが多くいますが、今年もさらに改善に向けて取り組む必要があると感じています。

「心と体のバランスのとり方」皆さんはどのようにされているでしょうか。私は、普段の生活空間から一時離れる時間がバランスを矯正してくれていると感じており、幸い趣味が自然の中に身を投じるものを楽しんでいます。一つ目の趣味は野鳥の写真を25年ほど前から撮影しています。

最近あまり時間が取れませんが、それでも長期休暇にはカメラをかついで野山に入り、自然と対峙する時間を取っています。風の音、木々の葉が触れ合う音、水の音などに囲まれながら、鳥を待っているときに、中々出会えない美しい野鳥の声が近づいてきたときは、胸がワクワク。撮影可能距離に来た時にはシャッターを切りまくります。その音もまた爽快です。仕事やプライベートで心配事があると、そのような中でも集中できないときがあります。これが私のSOSと感じています。そんな時は、空や里山の風景など大きな自然をみて心を落ち着けるようにしています。

また、もう一つの趣味のゴルフも適度な運動を自然の中でプレーすることで、気分転換になっています。長年の習慣で自然の中を歩いているときは、プレーだけでなく、野鳥の声や、頭上を飛んでいるオオタカなどの猛禽類も観察しながら楽しんでいます。プレーの調子が悪いときは、このような余裕がなくなってしまうのですが、調子のよいときは周りが見えています。これは仕事でも当てはまることだと思います。周りが見えなくなったら要注意ですね。コミュニケーションを積極的にとるようにして狭い考えにならないように心掛けています。このようなスタッフに気が付いたときは、声をかけるようにしています。

今年は、全国産業安全衛生大会がお膝元の横浜で開催されます。成功させるためには皆様のご協力が必要です。本年が会員皆様に幸多からんこと、そして労働災害が起こらないこと、安全衛生大会が成功することを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

記載の内容は、ダイジェスト版です。詳しくは支部ホームページまで

新年のご挨拶



『新年のご挨拶』

厚木労働基準監督署
署長 炭竈 徹夫

あけましておめでとうございます。公益社団法人神奈川労働安全衛生協会厚木支部の皆様方には、日頃から労働基準行政の推進に多大なる御理解と御協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

東京オリンピック開催もいよいよ再来年と迫ってきました。開催に伴うインフラの整備や今後の経済動向がどうなるか、またそれらによって労働者雇用、労働時間等労働条件、労働災害と言った労働問題にどう影響してくるのかなどいろいろ気になるところです。

さて、そのような中「働き方改革」は政府が今、日本経済再生に向けて最大のチャレンジとして取り組んでいるものです。基本的な背景として、少子高齢化による労働力人口の減少・人手不足の現状があり、これを打開するために一億総活躍を掲げるものです。

昨年3月に働き方改革実行計画が示されており、非正規雇用の処遇改善、賃金引き上げと労働生産性向上、長時間労働の是正、女性・若者の人材育成、病気の治療と仕事の両立、障害者の就労、高齢者の就業促進、外国人の受け入れ等々の項目がありますが、「働き方改革」とは魅力ある職場作りのことになります。これら項目の中で労働基準行政としては特に長時間労働の是正が関係しておりますが、国会の解散により先送りになった罰則付き時間外労働の上限規制等についての労働基準法改正法案については、本年提出される見込みでありますので、内容を十分に御理解いただきたいと思います。

また、当署では、過労死ゼロ緊急対策に基づく施策についても推進して参りましたが、昨年も過労自殺としてマス

コミに取り上げられた事案がありました。働くことにより、命を失ったり健康を損なうことはあってはならないことでもあります。本年も引き続き過重労働対策に取り組んでまいります。

労働災害に目を移しますと、昨年は第12次労働災害防止推進計画の最終年でしたが、残念なことに当署管内の休業4日以上の災害件数は11月末現在で801件（対前年同期比12.7%増）であり、12次防の最終目標値742件を達成することはできませんでした。また、この災害件数は神奈川局12署中、最も多い件数となっており、特に製造業、運輸交通業、貨物取扱い業では群を抜いて多い件数となっています。本年は第13次労働災害防止推進計画がこれから策定され、その初年度となります。是非とも次の5年間では大きく減少傾向へ転じさせていきたいと思っています。

事業場におかれましても、災害減少のため、リスクアセスメントの実施、転倒災害の防止、安全の見える化等の取組推進を御願いたします。

なお、運送業での災害は荷主先で発生する災害が多く、運送業事業者だけでは対策を講じることができない災害も多くありますので、荷主である事業者についてもご留意を御願いたします。

末筆となりますが、本年が良い一年となりますように祈念いたしますとともに、貴支部並びに会員の皆様方の益々の御発展と御健勝を祈念しまして、新年の御挨拶といたします。

平成30年 年間標語

健康な心と体で安全作業 目指すは笑顔の無災害

署からのお知らせ

労働災害多発警報

現在、厚木労働基準監督署管内（厚木、海老名、大和、綾瀬、座間、愛川、清川）で労働災害が多発しています。

11月末現在で平成29年の死傷労働者数は801名、前年比12.7パーセントの増加となっています。また、死亡災害が4件発生しています。（製造業1件（はさまれ・巻き込まれ）、建設業2件（飛来・落下及び墜落）、清掃業1件（墜落））

平成18年の996人（うち死亡10人）をピークに減少傾向にありましたが、平成29年は、ピーク時に迫る勢いで増加しています（グラフ参照）。

全国的にも死亡災害が増加しており、発生原因として災害防止の基本が徹底されていないケースが多くみられますので、今一度、作業手順（作業標準）の順守状況、保護具着用状況、設備の定期的な保守点検、安全衛生教育の実施、新規設備や新規技術導入前後、改修前後及び新規原材料導入時など新たな作業方法・環境が生じた際のリスクアセスメント実施など、再確認をお願いいたします。

注意情報



天井クレーン等を設置している 事業場のみなさまへ

クレーン等安全規則第13条では、建設物の内部に設置されている天井クレーンや橋形クレーン等の走行クレーン（クレーンガーダを有しないもの及びクレーンガーダに歩道を有しないものを除く。）と建設物等との間隔が規定されておりますが、他県では、これらの法定間隔を確保していない天井クレーンのガーダ上で点検作業を実施していた作業員が、クレーンガーダの歩道の手すりとは建物の梁との間に身体の一部がはさまれる死亡災害が発生しております。

天井クレーンを設置している事業者におかれましては、定期自主検査時等に、クレーン等安全規則第13条で定められている法定間隔が確保されていることを確認してから作業を行うようお願いいたします。

製造業や鉄道業などの皆様へ

機械設備の石綿含有部品を 把握していますか？

石綿含有部品を交換・廃棄などする際は、
「石綿障害予防規則」に基づき、
労働者に対する『石綿ばく露防止措置』が必要です。

神奈川労務安全衛生大会にて表彰状授与

10月19日（木）川崎市教育文化会館で開催されました平成29年度神奈川労務安全衛生大会において、日頃より安全衛生及び労務管理水準の向上と支部の発展に寄与された県内事業場の方々に神奈川労務安全衛生協会長賞が授与され、厚木支部からは7名の方が表彰されました。

記載の内容は、ダイジェスト版です。詳しくは支部ホームページまで



身近な『鎌倉七福神巡り』

私は毎年、鎌倉へ初詣に行っていますが、鎌倉巡りをしたことはありませんでした。今回、休暇を利用して鎌倉を散策してきましたのでご紹介いたします。どのような順路で、無理をしないで歩き楽しむことができるかを考えたとき「七福神巡り」を思いつきました。北鎌倉駅を下車し出発です。 *続きはぜひHP版をご覧ください。

日新工業株式会社
人見 久夫



『ヒートショックにご注意を!!』

自動車部品工業株式会社
井関 勝美

皆さんは「ヒートショック」という言葉を耳にしたことがありますか。ヒートショックとは、血圧が急激な温度変化によって大きく変動しておこる健康被害のことです。毎年1万人以上の方がヒートショックにより心筋梗塞・脳梗塞等を発症し亡くなっており、年々増加の傾向にあります。また、ヒートショックを起こしやすいのは、体の弱い高齢者、高血圧や糖尿病等の持病がある人で、特に寒い冬場の入浴時が危険とされています。

*入浴時の危険性や予防法はHP版をご覧ください。



『アツギ70周年記念バザー』

アツギ株式会社
中村 修

今回のディスカバリーあつぎは、海老名市にあるアツギ株式会社のバザーをご紹介いたします。「アツギ」といいますが、会社所在地は海老名市です。創立は1947年12月で、今年で70周年を迎えました。社名の由来は、創業者堀禄助氏が世界に販売する為には世界的に有名な地名が良いだろうとの考えから終戦後ダグラスマッカーサーが降り立った厚木飛行場からその名をとり、社名を「厚木」としました。 *続きはぜひHP版をご覧ください。



支部からのお知らせ

今後の支部行事予定

- 2月 2日 (金) 経営首脳者セミナー
- 2月 8日 (木) 危険体感講習会
- 2月16日 (金) 安全衛生推進者養成講習会
- 2月20日 (火)・21日 (水) 職長教育講習会

記載の内容は、ダイジェスト版です。詳しくは支部ホームページまで